



JSP Corporation Engineered Plastic Foams

2018年3月期第2四半期

# 決算説明会

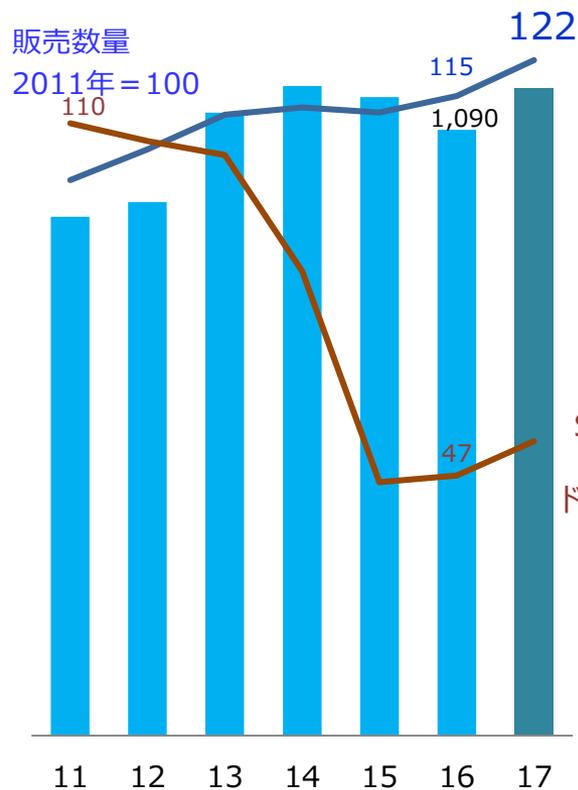
---

株式会社JSP

1. 2018年3月期第2四半期決算概要（2017年度上期）
2. 2018年3月期決算見通し（2017年度見通し）
3. 2018年3月期第2四半期決算補足（2017年度上期補足）
4. 生産能力の増強

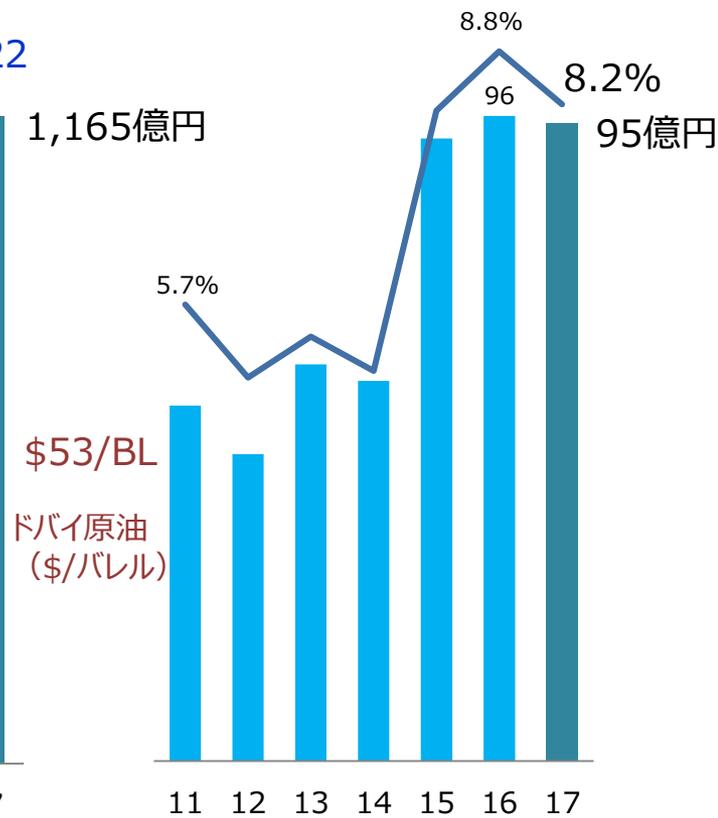
## Growth

売上高・販売数量



## Margin

営業利益・営業利益率



## Return

総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2016年度上期 実績	2017年度上期 公表 (2017/7/28)	2017年度上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	54,587	58,000	<b>56,815</b>	+4.1%	△2.0%
営業利益	5,000	4,600	<b>4,973</b>	△0.5%	+8.1%
経常利益	5,031	4,700	<b>4,959</b>	△1.4%	+5.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,820	3,450	<b>3,595</b>	△5.9%	+4.2%

- 為替：17年度上期112.1円/\$ 122.2円/€ (16年度上期 111.8円/\$ 124.4円/€)
- 原油価格(ドバイ)：\$50.1/バレル (2016年度上期 \$43.4/バレル)
- 経済状況：米国／自動車販売に陰り、メキシコ／堅調、ブラジル／景気は底入れの兆し、欧州／堅調な景気拡大、中国／安定成長継続、その他アジア地区／穏やかな景気回復が継続
- 連結業績
  - 売上高：販売数量、高付加価値製品比率の増加や製品価格改定により前年同期比+4.1%
  - 営業利益：国内における原材料価格上昇に対する製品価格改定時期のずれや運送費の値上り等の影響あり、前年同期比△0.5%

項目 (単位：百万円)	2016年度上期 実績	2017年度上期 実績	前年同期比
売上高	18,792	<b>19,106</b>	+1.7%
営業利益	1,515	<b>1,266</b>	△16.4%

高付加価値製品販売増で売上増、原材料価格改定遅れで利益減少

### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」

- 電子レンジ対応・即席麺容器の  
販売が伸張

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」  
「ミラボード」

- 液晶TV基板輸送緩衝材等の付加  
価値製品の販売が国内外で好調

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

- 割付断裁品、高断熱製品の販売好調

項目 (単位：百万円)	2016年度上期 実績	2017年度上期 実績	前年同期比
売上高	33,011	<b>34,969</b>	+5.9%
営業利益	3,892	<b>4,089</b>	+5.0%

販売数量増加、価格改定の影響で売上増、利益増加

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名「ARPRO」  
「エレンポールNEO」



- 自動車の新規部品採用拡大
- 日本：自動車生産台数回復
- 北米・欧州：需要増加、好調に推移
- 中国・東南アジア・台湾：販売数量増

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」  
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」需要減少、価格改定で売上増加
- 「スーパーブロー」フロート向け売上増加

項目 (単位：百万円)	2016年度上期 実績	2017年度上期 実績	前年同期比
売上高	2,784	2,739	△1.6%
営業利益	68	59	△13.4%

国内：売上前年並、中国：売上減

### 国内一般包材

- 自動車関連の梱包材需要増、全体では売上微減



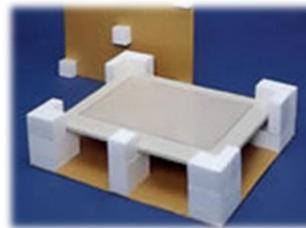
自動車部品トレイ



光学部品緩衝材

### 中国一般包材

- 新規需要の立ち上がりの遅れで売上減



情報家電緩衝材



1. 2018年3月期第2四半期決算概要（2017年度上期）
2. 2018年3月期決算見通し（2017年度見通し）
3. 2018年3月期第2四半期決算補足（2017年度上期補足）
4. 生産能力の増強

項目 (単位：百万円)	2016年度	2017年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期予想	通期見通し (公表値)	
売上高	109,048	56,815	59,685	<b>116,500</b>	+6.8%
営業利益	9,612	4,973	4,527	<b>9,500</b>	△1.2%
経常利益	10,033	4,959	4,741	<b>9,700</b>	△3.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,301	3,595	3,105	<b>6,700</b>	△8.2%

- 為替レート： 米ドル 111.9円/\$ (上期112.1 下期111.6)  
ユーロ 126.4円/€ (上期122.2 下期130.6)  
人民元 16.6円/元 (上期16.4 下期16.8)
- 原油価格(ドバイ)：\$53.1/バーレル (上期50.1 下期56)
- 配当：1株当たりの配当金 (予想) 年間 50円 (中間25円、期末25円 (予想) )

# 10 中期経営計画との比較

2017年度見通し  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

項目 (単位：百万円)	2017年度 中期経営計画	2017年度 見通し	中計比
売上高	135,000	<b>116,500</b>	△13.7%
営業利益	8,800	<b>9,500</b>	+8.0%
経常利益	8,900	<b>9,700</b>	+9.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,600	<b>6,700</b>	+19.6%

- 中期ビジョン「深化と成長」
- 計画名「Deepen & Grow 2017」
- 基本方針
  - (1) 差異化戦略の推進
  - (2) 成長戦略の推進



## 対中期経営計画

- 売上高
  - ① 原料価格値下がりの影響  
原油価格(ドバイ) \$105→\$53/バーレル
  - ② 販売数量が未達
- 各利益
  - ① 高付加価値製品へのポートフォリオ改善
  - ② 原料価格安定によるスプレッド回復

項目 (単位：百万円)	事業の種類	2017年度 対外公表	2017年度 通期見通し	差異
売上高	押出事業	40,421	<b>40,421</b>	0
	ビーズ事業	70,014	<b>70,014</b>	0
	その他	6,065	<b>6,065</b>	0
	合計	116,500	<b>116,500</b>	0
営業利益	押出事業	2,977	<b>2,781</b>	△198
	ビーズ事業	7,367	<b>7,483</b>	+116
	その他	122	<b>115</b>	△7
	全社及び控除	△966	△ <b>879</b>	+87
	合計	9,500	<b>9,500</b>	0

項目 (単位：百万円)	2016年度	2017年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期予測	通期見通し	
売上高	37,929	19,106	21,315	40,421	+6.6%
営業利益	3,045	1,266	1,515	2,781	△8.7%

重点施策：高付加価値製品の販売に注力、製品の差異化を推進

### 食品包材・容器



「耐熱PSP」



「木目PSP」

- 耐熱食品容器の拡販
- 機能性食品容器の拡販

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」  
「ミラボード」

- 液晶TV基板輸送緩衝材の拡販
- スマホ・タブレット市場開拓
- 海外市場での販売を強化
- 差異化製品による新市場開拓

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」



「Jウォールブロック」

- 高断熱性能ミラフォームの拡販
- Jウォールブロックの拡販
- 土木分野のシェア拡大
- 高断熱化技術の研鑽

項目 (単位：百万円)	2016年度	2017年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期予測	通期見通し	
売上高	65,354	34,969	35,045	70,014	+7.1%
営業利益	7,376	4,089	3,394	7,483	+1.5%

## 重点施策：EPP 地域別販売戦略の明確化、EPS 機能性製品の拡販

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ

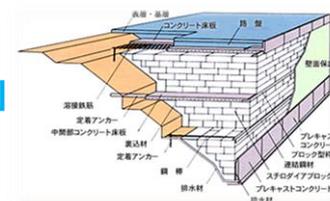


「ピーブロック」 「エレンポールNEO」 「ARGILIX」

- 自動車の新規部品の採用拡大（シート等）
- 液晶TV基板輸送用緩衝材拡販
- 柔軟性発泡体を販売開始

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品

「スチロディア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」



- EPS盛土工法
- エコキュート保温材
- 自動車部品
- 消失模型鋳造



1. 2018年3月期第2四半期決算概要（2017年度上期）
2. 2018年3月期決算見通し（2017年度見通し）
3. 2018年3月期第2四半期決算補足（2017年度上期補足）
4. 生産能力の増強

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2017年度上期	56,815 (+4.1%)	4,973 (△0.5%)	4,959 (△1.5%)	3,595 (△5.9%)
2016年度上期	54,587 (△4.6%)	5,000 (+21.4%)	5,031 (+22.3%)	3,820 (+32.7%)

包括利益：2017年度上期 3,800百万円 2016年度上期 △1,772百万円

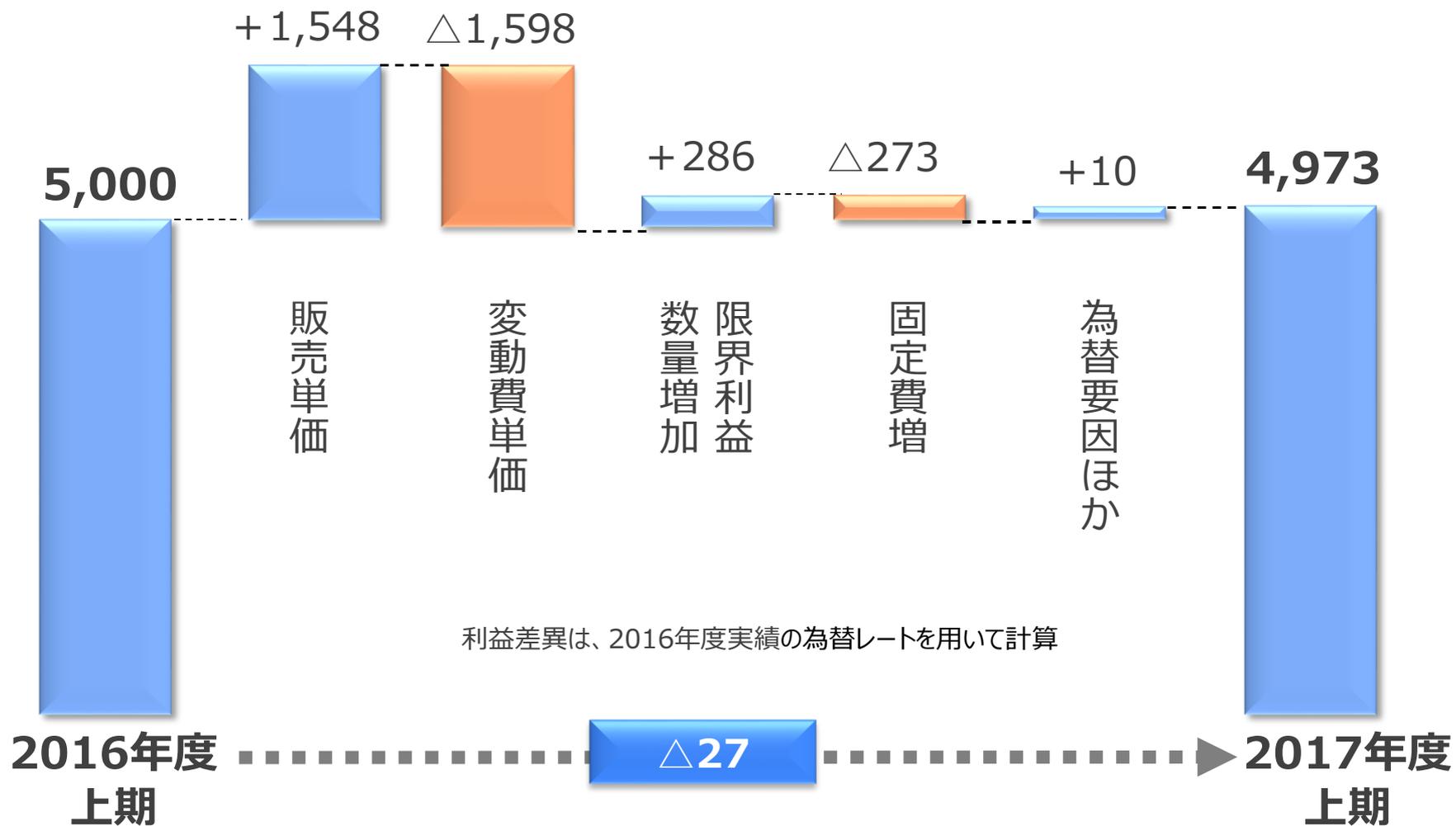
年度	1株当たり 当期純利益	売上高 営業利益率
2017年度上期	120円62銭	8.8%
2016年度上期	128円16銭	9.2%

# 営業利益の増減要因

2017年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)



# 17 営業外損益・特別損益

2017年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2016年度 上期	2017年度 上期
受取利息	86	<b>87</b>
持分法による投資利益	3	<b>2</b>
その他	171	<b>147</b>
営業外収益合計	261	<b>237</b>
支払利息	60	<b>53</b>
為替差損	74	<b>154</b>
その他	96	<b>43</b>
営業外費用合計	230	<b>251</b>

## 特別損益

科目 (単位：百万円)	2016年度 上期	2017年度 上期
固定資産売却益	18	<b>22</b>
特別利益合計	18	<b>22</b>
固定資産売却損	—	<b>8</b>
固定資産除却損	27	<b>41</b>
特別損失合計	27	<b>49</b>

年度 (単位：百万円)	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
2017年度上期末	119,508	79,683	63.0%	2,526円26銭
2016年度末	113,151	76,778	64.1%	2,433円10銭

(参考) 自己資本 2017年度上期 75,308百万円  
2016年度末 72,532百万円

科目 (単位：百万円)		2016年度末	2017年度 上期末	増減額
資産の部	流動資産	60,208	<b>65,053</b>	4,844
	固定資産	52,943	<b>54,455</b>	1,512
資産合計		113,151	<b>119,508</b>	6,356
負債の部	流動負債	29,667	<b>32,189</b>	2,521
	固定負債	6,705	<b>7,635</b>	930
	負債合計	36,373	<b>39,825</b>	3,451
純資産の部	株主資本	73,488	<b>76,188</b>	2,700
	その他包括利益累計額	△955	△ <b>879</b>	75
	非支配株主持分	4,245	<b>4,374</b>	128
	純資産合計	76,778	<b>79,683</b>	2,904
負債純資産合計		113,151	<b>119,508</b>	6,356

科目 (単位：百万円)		2016年度末	2017年度 上期末	増減額
株主資本	資本金	10,128	<b>10,128</b>	—
	資本準備金	13,405	<b>13,405</b>	—
	利益剰余金	51,336	<b>54,038</b>	2,701
	自己株式	△1,382	<b>△1,383</b>	△0
	合計	73,488	<b>76,188</b>	2,700
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	239	<b>315</b>	76
	為替換算調整勘定	△1,694	<b>△1,709</b>	△14
	退職給付に係る調整累計額	499	<b>513</b>	13
	合計	△955	<b>△879</b>	75
非支配株主持分		4,245	<b>4,374</b>	128
純資産合計		76,778	<b>79,683</b>	2,904

# キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2017年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2017年度上期	3,220	△3,435	276	8,029
2016年度上期	3,843	△3,249	△2,647	7,319

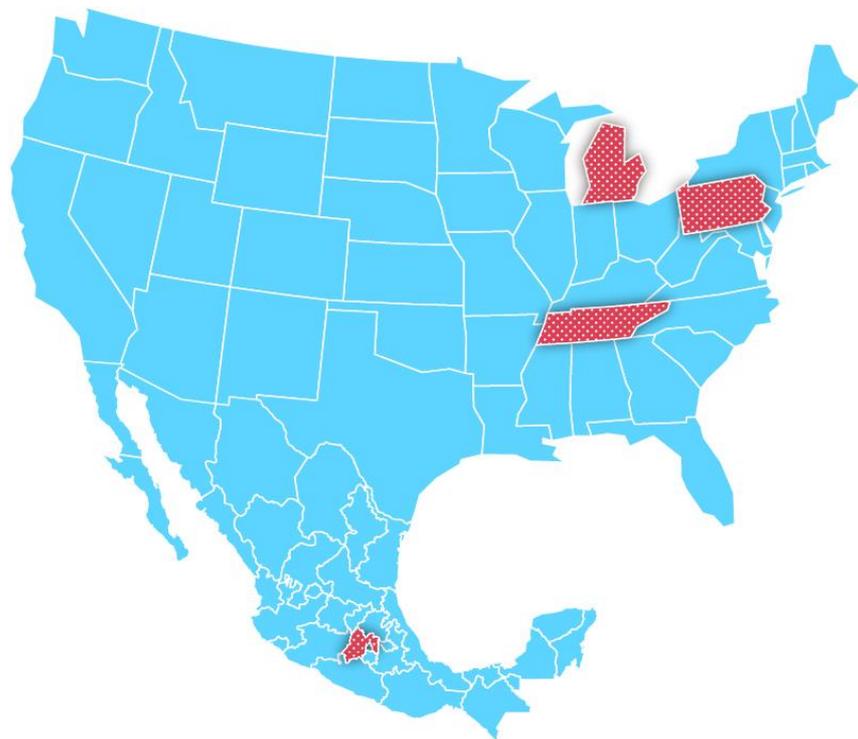
## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2017年度上期	3,670	2,506	1,047
2016年度上期	3,552	2,418	1,056

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2018年3月期第2四半期決算概要（2017年度上期）
2. 2018年3月期決算見通し（2017年度見通し）
3. 2018年3月期第2四半期決算補足（2017年度上期補足）
4. 生産能力の増強

## 北米 発泡ポリプロピレンビーズ・成形工場「ピーブロック/ARPRO」



## 背景

- 引き続き好調な自動車販売
- 多くのシートコア部品を受注、日系車種にも拡大
- 競技用グラウンド基礎緩衝材の需要も拡大傾向

## 生産能力増強の概要

①社名	JSP International Group Ltd.
②所在地	米国：ミシガン州、ペンシルバニア州、テネシー州 メキシコ：メヒコ州
③事業内容	発泡ポリプロピレンビーズ・成形品の製造及び販売
④生産能力	25%増
⑤投資金額	約10億円

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室